

イラン戦争の背景と日本への影響

昨今の中東情勢の緊迫化、特にイスラエル・米国とイランの対立に伴うペルシャ湾封鎖は、世界の原油供給に深刻な影響を及ぼしています。原油の多くを中東に依存する日本において、なかでも製造業の集積が進む九州経済にとって、原油の安定供給確保は企業活動の根幹に関わる喫緊の課題となっています。今回は、中東問題の専門家である坂梨 祥氏に、イラン戦争の背景と日本への影響についてお話いただきますので、ぜひご参加ください。

●日 時 2026年7月21日 (火) 15時00分～16時30分 (14時30分開場)

●場 所 電気ビル共創館3F カンファレンスC
(福岡市中央区渡辺通2-1-82)

●定 員 会場での聴講 70名 (先着順) / WEBでの聴講

※会場での聴講が定員を超えた場合は、WEB聴講をお願いします。
WEB聴講をされる方には別途URLを送付します。

●入場料 無 料

◇講 師

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所
理事・中東研究センター長

さかなし さち
坂梨 祥 氏

東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了。2000年から2年間、イランの首都テヘランの日本大使館において専門調査員として勤務。2005年から一般財団法人日本エネルギー経済研究所でイランをはじめ中東地域の経済・エネルギーに関する調査・分析に取り組まれている。



◆お申込み 次のURLまたは二次元コードからお申込みください。

<https://q-enecon.org/activity/koen/index.html>

※ 申込画面で「会場での聴講」または「WEBでの聴講」をお選びください

◆主 催 一般社団法人九州経済連合会 九州エネルギー問題懇話会

◆後 援 福岡経済同友会 エネルギー委員会、福岡商工会議所



お問い合わせ 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館6F
(一社)九州経済連合会 九州エネルギー問題懇話会「エネルギー・環境講演会」係
TEL 092-714-2318 FAX 092-714-2678